

2024年11月1日

ローム株式会社

日本全国にオーケストラの音楽をお届けする特別企画第6弾は名古屋にて開催！

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.6

名古屋フィルハーモニー交響楽団 プレミアム・コンサート in 名古屋

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、財団設立30周年を記念して始めた全国でオーケストラのコンサートを開催する「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT」(以下、「本プロジェクト」)の第6弾として、「名古屋フィルハーモニー交響楽団 プレミアム・コンサート in 名古屋」を2025年2月16日(日)に開催いたします。

本プロジェクトは、これまで京都、福岡、仙台、倉敷、浜松と日本各地で開催しております。オーケストラの素晴らしい演奏と共に、ローム ミュージック ファンデーションが過去に音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」によるソロなどを多くのお客様にお楽しみいただきました。

今回の公演も岩代太郎作曲の設立30周年記念作品「東風慈音ノ章」で幕を開けます。続いて、ローム ミュージック フレンズであり、NHK交響楽団の首席チェリストの辻本玲をソリストに迎え、ドヴォルザークのチェロ協奏曲を披露します。プログラムのメインには、イタリアの作曲家、レスピーギの名曲として名高い「ローマ三部作」より「ローマの噴水」と「ローマの松」というきらびやかで壮大な2つの作品を高関健の指揮でお届けします。演奏前には、司会の松本志のぶが楽しく楽曲を解説するプログラムもご用意しております。

ローム ミュージック ファンデーションの30年以上にわたる音楽文化支援活動で得た絆が生み出す豪華プログラムをお楽しみください。

■第6回公演概要



名 称	: ROHM MUSIC FOUNDATION 30 TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.6 名古屋フィルハーモニー交響楽団 プレミアム・コンサート in 名古屋
日 程	: 2025年2月16日(日) 16:00開演(15:15開場)
会 場	: 愛知県芸術劇場 コンサートホール(名古屋市)
オンライン	: クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」内 「ローム ミュージック チャンネル」にて配信 https://curtaincall.media/rmf
出 演 者	: 指揮者 / 高関 健 チェロ / 辻本 玲(ローム ミュージック フレンズ) 管弦楽 / 名古屋フィルハーモニー交響楽団 司会 / 松本 志のぶ
料 金	: S席/4,000円、A席/3,000円、B席/2,000円 オンライン配信チケット/500円
チケット販売	: 2024年11月1日(金) チケットぴあ 他にて販売開始
主 催	: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
特 別 協 賛	: ローム株式会社

<プログラム>

- 岩代 太郎 : 東風慈音ノ章 ~ローム ミュージック ファンデーション設立 30 周年記念 委嘱作品~
A.ドヴォルザーク : チェロ協奏曲 口短調 Op.104, B.191 (独奏:辻本 玲)
O.レスピーギ : 交響詩「ローマの噴水」P.106、「ローマの松」P.141

※詳細は添付のチラシをご参照ください。

<コンサートのポイント>

- ・本プロジェクトのために委嘱した岩代太郎作曲の作品を演奏。

※世界初演は2023年1月25日 角田鋼亮指揮、京都市交響楽団。本作品の演奏としては本公演で6回目。

初演動画(ダイジェスト)はこちら<<https://youtu.be/o9ZnHbDusbU?si=2KVdgVwU--xY711n>>

- ・ソリストの辻本 玲(ローム ミュージック ファンデーション2007~2010年度奨学生)は日本音楽コンクールにて第2位、ガス・パール・カサド国際チェロ・コンクールにて第3位(日本人最高位)を受賞し、現在、NHK交響楽団の首席チェロ奏者を務める日本を代表するチェリストのひとり。
指揮者は、本プロジェクト福岡公演(Vol.2)にも出演した、国内外のオーケストラと共演する名匠・高関 健。
- ・司会の松本志のぶによる楽曲の解説も含まれており、クラシック愛好家だけではなく幅広い方々にお楽しみいただけるプログラムをご用意。

■ 30周年記念委嘱作品について

①タイトル

<日本語表記>

東風慈音ノ章(こちじおんのしょう) Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

<英語表記>

The Chapter of KOCHI-JION Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

②作曲者 コメント

以前から幾度となく、異国の地で「たった一人の日本人メイン・スタッフとして」映画や映像制作の現場に参画してまいりました。特にアジア圏内の制作現場では、歓迎の視線、そして嫌悪の視線が交差する現場も決して珍しくありません。そんな折、私は関係者の人々に、「慈愛」「敬愛」の念をもって誠意を尽くすことで、結果、多くの友人に恵まれてきました。「敬う」「慈しむ」という心情は、ほぼ誤解なく伝わるものだと思っています。因みに「愛情」や「礼節」だけではダメなのです。それは、相手が求めているカタチでなければ、伝わらず、受け止めてもらえないことさえあります。夫婦間や恋人同士であっても、「愛情」や「礼節」の掛け違いから喧嘩になることもあるほどですから。改めて言うまでもなく「愛情」や「礼節」が争いや戦争のきっかけになってきたことは、誰もが歴史から学べるところでしょう。

世界の分断が日に日に増し、不穏な空気感が漂っている今、極東に位置する私たち日本が、明日に向かって何を成すべきか、そんな想いを敢えて「祝典曲」に込めたいと思いました。

「音楽」が成就する為には「平和」が必要です。

「音楽」は「心」にしか宿りません。

そんな様々な明日への想いを込めて、「東風慈音ノ章」と名づけさせて戴きます。

作曲者: 岩代太郎 <プロフィール>



©Rowland Kirishima

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

■ライブ配信及びアーカイブ配信について(有料)

クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」にてライブ配信いたします。

また、公演翌日から1週間の期間限定でアーカイブ配信もご覧いただけます。

<2025年2月17日(月)15:00～2025年2月23日(日)23:59>

■ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT 特設WEBサイトについて

ローム ミュージック ファンデーションWEBサイト内に特設WEBサイトを設置し、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新しています。

過去公演のダイジェスト動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。

(各公演情報内の「ダイジェスト動画はこちら」をクリックするとご覧いただけます。)

<<https://www.rmf.or.jp/jp/30th-project/>>

■ローム ミュージック フレンズについて

ローム ミュージック ファンデーションは様々な事業で若い音楽家の育成を図っており、その事業の中で関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」(4,934名:2024年10月時点)として、ともに音楽を届ける仲間となっ

事業名	内 容
奨学援助 (1991年度～)	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の支給。 現在までに557名を支援。
音楽在外研究援助 (1993年度～2014年度)	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。 現在までに64名を支援。
音楽セミナー (1992年度～)	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。これまでに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施し、現在までに333名が受講。
ローム ミュージック セミナー (2019年度～)	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー 2019年度からは宮田大・チェロクラスを実施し、現在までに13名が受講。
京都・国際音楽学生フェスティバル (1993年度～)	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。 現在までに国内外から2,646名が出演。
小澤征爾音楽塾 (2000年度～)	小澤征爾氏の「若い音楽家を育てたい」という熱い思いで始まったオペラやオーケストラの公演を通じて若手音楽家の育成を図る教育プロジェクト。 現在までに1,583名が出演。
RMF&山田和樹 グローバル プロジェクト (2024年度～)	日本の音楽家が今よりも更に世界中で活躍する未来を作ることを目的に、グローバルに活動を展開する育成プロジェクト。 現在までに3名が参加。

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません。

以上

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT (Vol.6)名古屋フィルハーモニー交響楽団
プレミアム・コンサート in 名古屋

ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品
岩代太郎／東風慈音ノ章

A.ドヴォルザーク／チェロ協奏曲 ロ短調 Op.104, B.191

O.レスピーギ／交響詩「ローマの噴水」 P.106
「ローマの松」 P.141



高関 健(指揮)



辻本 玲(チェロ)



松本 志のぶ(司会)

2025.2/16[日] 愛知県芸術劇場コンサートホール

16:00 開演 (15:15 開場)

〒461-8525 愛知県名古屋市中区東桜一丁目13番2号

全席指定 S席:4,000円 A席:3,000円 B席:2,000円 | 有料配信オンラインコンサートチケット 500円

公演チケットお取り扱い

アイチケット 0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket>チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:282-223]ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード:42986]e+(イープラス) <https://eplus.jp>

愛知芸術文化センター内プレイガイド 052-972-0430

名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755

オンラインコンサートチケットお取り扱い

カーテンコール <https://curtaincall.media> (購入方法についてはWEBサイトをご覧ください。)

有料配信のお知らせ

クラシック専門ストーリーミングサービス カーテンコールにて、当日会場での公演開催と同時にライブ配信および、期間限定のアーカイブ配信も実施します。

アーカイブ配信

2025年2月17日(月)15:00～2月23日(日)23:59

公演内容に関するお問い合わせ

クラシック名古屋 052-678-5310 (11:00～16:00 土日祝休)

視聴方法に関するお問い合わせ

カーテンコール <https://curtaincall.media/contact>

配信サイトはこちら

主催：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 特別協賛：ローム株式会社

※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年～2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。

設立30周年を記念し、この活動をより広げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催しております。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業で関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。



名古屋フィルハーモニー交響楽団 Nagoya Philharmonic Orchestra (管弦楽)

名古屋を中心に、中部・東海地方の音楽界をリードするプロ・オーケストラ。革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く全国に話題を発信。“名(めい)フィル”の愛称で親しまれている。2023年川瀬賢太郎が第6代音楽監督に就任。ほか現在の指揮者陣は、小泉和裕(名誉音楽監督)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)。2023年小出稚子が第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。1988年ヨーロッパ2か国、2000年アジア8か国、2004年ヨーロッパ3か国、2006年アジア7か国の海外ツアーを実施。楽団創立は1966年7月10日。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。現在は年間約110の演奏会に出演。

公式ウェブサイト <https://www.nagoya-phil.or.jp/>



©K.Miura

高関 健 Ken Takaseki (指揮)

国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者。サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団定期演奏会で聴衆や楽員から大絶賛を受けるなど海外への客演も多く、世界的ソリストや作曲家からも絶大な信頼を得る、緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。新国立劇場での團伊玖磨「夕鶴」、ストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」、チャイコフスキー「イオランタ」、ウラジオストクとサンクトペテルブルグでの「夕鶴」等オペラでも作品の魅力を存分に伝え高い評価を得ている。1977年カラヤン指揮者コンクールジャパン、1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝。第50回サントリー音楽賞等を受賞。NHK等の番組にも定期的に出演するなど幅広い活躍を続けている。東京藝術大学名誉教授。

X (Twitter) @KenTakaseki



©KING RECORDS

辻本 玲 Rei Tsujimoto (チェロ)

ローム ミュージック フレンズ
＜2007、2008、2009、2010年度奨学生＞

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。第72回日本音楽コンクール第2位(「聴衆賞」受賞)。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)。2011年に東京サントリーホール他5大都市でデビュー・リサイタルを開催。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2019年CD「オブリヴィオン」をリリース(「レコード芸術」誌特選盤)。サイトウ・キネン・オーケストラ、東京・春・音楽祭に参加するほか、チェロ四重奏団「クアルテット・エクスプローチェ」など室内楽でも活動。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は住野泰士コレクションよりTourteを特別に貸与されている。現在、NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める。



松本 志のぶ Shinobu Matsumoto (司会)

静岡県浜松市出身。上智大学外国語学部卒業後、日本テレビに入社。「24時間テレビ」総司会、「行列のできる法律相談所」レギュラーMC、「ズームイン!!朝!」、五輪現地キャスターなどを務め、報道・情報・ニュース・バラエティ各種番組で活躍。2009年よりフリーアナウンサーとして、TBS「教科書にのせたい!」レギュラーMCなども務め、また、テレビだけでなく、報知新聞「報知映画賞」選考委員や、クラシックコンサートでの司会、子どものための読み聞かせコンサートでの朗読、洗足学園音楽大学客員教授を務めるなど、活動の場を広げている。



©Rowland Kirishima

岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「輝しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

ロームグループについて

ロームは、京都に本社を置く1958年設立の半導体・電子部品メーカーです。その製品は、自動車や産業機器のほか家電製品など、さまざまな電子機器に搭載され、技術革新を支えています。国内では、宮城、静岡、京都、滋賀、岡山、福岡、宮崎に工場を保有し、品質と信頼性に優れた製品をグローバルに供給しています。また、あらゆる企業活動を通して文化の進歩向上に貢献することを掲げ、創業以来メセナ活動にも積極的に取り組んできました。1991年には「公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション」を設立し、音楽文化の普及と発展に向けた支援を継続的に実施しています。

